

令和5年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市修学院第二) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数									合計	内容	成果と課題		
			乳幼児		小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中学生	大学生			大人					
基本活動	けん玉クラブ	21回		1	232		6						239	けん玉を通して誰かのできた喜びあえるような関係性を育む練習をし、技を磨く	始まりのメンバーが少なく、モチベーションも上がらないことが続いていた。検定も上手くできずめげてしまう子ども達が多かった。職員が教えるもできなくて諦め気味だった。しかし、発表の場が近づくと連れて、やる気が出てきた。なかなか1つにまとまるまで時間は掛かったが最終的にみんなで見えを出し合ったり言い合ったり出来ていいクラブになった。	
	卓球クラブ	34回		82	61	108	3	2	3		2	1	262	卓球を通して仲間作りを行う大会に向けて練習する	下級者、上級者に分かれて練習を行うことで、個々のレベルに応じた対応ができていて、上級者は主に試合メイン、下級者はサーブ練習やラリー練習を主にしていた。毎週開催することで、子どもたち楽しみにしていて、技術の上達にもつながるが、毎週同じメンバーで顔をあわせる分、なれ合い、だれる姿が見受けられたので、次年度はクラブとして、態度の部分も育成していきたい。	
	3ブロックなかよし卓球大会	1回			2	2	1						5	卓球を通して他館と交流をする。	卓球クラブでの成果を發揮する場としての位置づけで開催した。他館の子ども達と試合をし刺激を受ける子どもが多かった。交流大会は子ども達にとって良い刺激になると思うので来年度も近隣館所とや福福館との交流大会は実施していきたい。	
	交流大会試合	1回		2	1		4						7			
	3館合同練習試合	1回		1	1	2							4			
	修二の寺子屋 囲碁教室	21回		8	455	3	59						25	550	社会福祉協会の方に囲碁を教えていただく	地域の方に協力頂き、1年間活動することができた。児童によっては途中挫折しそうになった児童もいたが、友達と一緒に頑張り、努力して技能を高めることの喜びを感じることができた。
	寺子屋囲碁大会	2回			63								10	73	囲碁の日頃の取組の成果を出す	地域の方に協力頂き開催することができた。喜ばれたことを嬉しがる姿や進捗できたことを喜ぶ姿があり、何かに挑戦することの難しさや努力が実を結んだことの喜びを感じることができた。また、大会後は自由あそびの時間に進んで練習をしている児童の姿もあり、今後の励みになる大会となった。
	館内マンカラ大会	2回		1	88	1	5							95	普段遊んでいるマンカラの実力を競う大会	暑と春に大会を実施。1年生は初めての大会という事もあり、あそびの教室で大会のルールなどの確認、違反等の確認をして当日に臨んだ。当日はみんな真剣に試合に取り組みする力を発揮していた。今年度は春の大会を自由参加としたが、参加者が少なかった。次年度以降の募集についての検討が必要。
	館内カラム大会	1回			31		2							33	普段遊んでいるカラムの実力を競う大会	年明けすぐに大会を実施。カラムは普段から子ども達がよく遊んでいるので、慣れている子どもが多かった。普段の遊びではチームメイトを責める場面があったりしたが、大会になると優しい言葉掛けをしているのが多く見られとても良かった。
	音体験	1回	2	6	9	1	1	1	2		2	10	33	地域の社会福祉協議会の方の指導、協力のもと輪を使ってお餅などを食べたり、昔の生活について学ぶ機会となった。実際に火をつける所を見たりお餅が出来上がるのを見る貴重な経験となった。来年度以降も実施していきたい。今年度は開催場所を館の駐輪スペースとしたが、問題なく開催することができた。		
	竹とんぼを作ろう	1回			9		1						6	16	昔の遊びに触れる機会	今年度より、児童館事業として実施。対象も3年生以上とした。実際は参加者が少なく直前に2年生～を対象とした。普段使うことがあまりない刃物を使い竹を削る作業は子ども達にとって貴重な体験の場となった。次年度御M同じような形で行えればよいと思う。
	ひなまつりの会	1回		6	8				11					25	地域のお年寄りの方と共に季節の行事を楽しむ	久しぶりに地域のお年寄りの方を呼んでの開催することができた。今年度は『触れ合い』を意識したプログラム構成で子どもたちと、地域の方が触れ合い交流する良い機会となった。次年度以降も無理のない範囲で交流の場としていきたい。
	わくわくデー	毎月13回	6	367	5	14								392	様々な遊びに触れる機会	卓球やけん玉などの使い方(遊び方)の投げかけや、マンカラ大会などに向けてのルール周知、簡単な工作など、日常遊びの幅を広げるための位置づけで開催した。子ども達もいろいろな遊びに興味を持つきっかけになっていたため、次年度も行っていきたい。
	けん玉検定	12回	3	97	2	2								104	けん玉の検定	子どもたちが日常的に行けん玉に意欲を持って取り組めるように今年度より開催。1年生を中心に参加者が多かった。また、けん玉クラブ以外の子どもも参加する姿も見られた。課題としては、級があがり合格が難しくなってきた子ども達の意欲の維持への投げかけ。
	にじいろコンサート	1回	37	13	11	12	1	3	1	57	135	270	270	修学院中学校と共催で行ったコンサート	今年度は、来週制限を設けず、広く地域に広げ、コロナ前のような形で開催することができた。中學校前でのやり取りもスムーズに行うことができたので、次年度も同じように連携を取りながら、企画を動いていきたい。ただ、プログラムの内容が地域の音楽会と重なる部分がおおいため、対象、演目の棲み分けについては検討が必要。	
避難訓練	9回		398	1	11		8				13	431	431	災害時に備え、避難の仕方や避難経路の確認を行う	もしもの時に備えての火災、地震、水害などを想定した訓練を実施。毎年だが、訓練という事もあり遊び半分で避難している子どもも数名いたが全体では良かった。どのようにすれば自分の身を守るのか、守るためにはどうしたらいいのかを子ども達に考えさせるいい練習となった。次年度より実践に即した内容になるように検討しながら定期的な訓練を行っていく。また、地域の社協や消防団、自主防などとも連携をとり、協力を得ながら行っているため、次年度以降も同じように進めていきたい。	
クリスマス会	1回	12	56	2	2		2						72	職員の出し物、集団遊び等	小学校の体育館を借りて開催。各クラブの発表の場や普段なかなかできないみんな遊びの機会として子どもたちも楽しんで参加していた。最後は職員がサンタクロースになり子ども達にプレゼントを渡したりして、とても盛り上がった。来年度以降も内容を検討しつつ、子どもたちが楽しめる機会としていきたい。	
児童館まつり	1回	38	7	64	10	5	2	54		5	12	197	197	保護者会・学童児・どうんこサークル・民生委員や社協による企画、親子太鼓など	昨年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため学童まつりとしての開催だったが、今年度は対象を従来通りに戻し、久しぶりの開催となった。東部まち美化も企画したくなど、児童館の役割の一つでもある地域を繋ぐことも意識しながら、次年度以降も開催をしていきたい。	
ドッジボール交流大会	1回														雨天中止	
中学生世代と赤ちゃんとの交流活動	5回	18						31	16				65	65	中学生と赤ちゃんの触れ合い	近隣館と協力し、修学院中学校で開催できたことは、児童館の事業を円滑に守る良い機会になった。また、コロナ禍で中断していた館での事業も再開することができたのは大きな一歩。次年度に向けては、より参加しやすい日時、内容を計画し、年間を通しての後ろに力を入れて、参加者を募っていきたい。
合計		95	148	1953	147	117	38	97	57	9	212	2873	2873			
推進活動	学習支援活動	15回		559		12							583	583	大学生による学習指導の機会提供	学生が急遽来れない日があるなど、なかなか計画通りに進めることが難しかった。学生が来れないときは職員が入るなどし、子どもの顔数確保はできていたので、次年度も急な時は同じような対応で行っていきい。また、近隣の大学に積極的に声をかけ、学生を募っていきい。
	合計												583	583		
子ども育成機能 合計																

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

活動名	実施回数	参加人数									内 容	成 果 と 課 題		
		乳幼児		小4～6年		中高生		大人		合計				
		自由参加	要参加	自由参加	要参加	中高生	大人	中高生	大人					
ひだまりひろば	毎週(月) 30回	177	2					170		349	自由遊びをメインに、手遊び、体操、読み聞かせなどを行う。毎月はじめに身体測定。	乳幼児向けひろばで唯一の年齢制限なしのひろばなので、初めて来館される方にとっては「入り口」的な意味では今後も大切にしていきたい。また、今年度はコロナが緩和されたこともあり、0・1歳さん親子を中心に、参加者が多かった。毎年度にはなるが、身体測定を楽しみに来て下さる方たちの声が多いので来年度も実施していきたい。		
0・1歳児さんのひろば	毎週(金) 29回	328						308		636	0・1歳児対象のひろば。手遊び、読み聞かせ、季節にちなんだプログラムなど実施。 (基本的に自由あそびの回が中心)	昨年度より参加者が増えてきていて、手形スタンプやお昼寝アートなど今月の月齢しかできない事を取り入れていたためその日は部屋がいっぱいになる事が多かった。今年度も担当2人では対応し切れないときがあったので、そのような時は担当以外の職員も積極的に関わると、来年度も職員全員が意識をもって取り組んでいきたい。		
2・3歳児ひろば	毎週(水) 35回	176						163		339	2・3歳児対象のひろば。手遊び、リズム遊び、読み聞かせなど実施。	昨年度の0・1歳児クラスからの持ち上がりが多く、年間を通して参加者が昨年度より多かった。親子一緒に楽しむを意識し、年間のプログラムを立案していった。また、プログラムの最後に「ミッキーマスマーチ」の体操を取り入れたことは、子どもに終わりがわかりやすく、次年度も行っていきたい。		
ランチしましょ	毎日(11月～)	32						33		65	各ひろば後に、乳幼児親子対象にお昼ごはんの場を提供。	参加者はまだまだコロナ禍以前のような人数ではないが、再開を心待ちにされていた方もいて、保護者同士の交流の場としての役割をはたしている。今後も気軽に参加できる雰囲気大切にしていきたい。		
子育てサロン「そらいろ」	毎月第2(火) 12回	87	3					82		203	主任児童委員さんによる子育てサロン。自由遊びや、リズム音楽活動、読み聞かせなど、季節にちなんだ活動も実施。	リズムあそび、絵本、親子の工作等、毎回多彩な内容で実施していただいた。参加される親子は毎月楽しみにされている方が多かったため今後も継続して連携をとっていきたい。		
一乗寺保育園合同事業	6月2日 1月26日	2 5						3 4		5 9	一乗寺保育所との合同事業。	当館主体の事業として展開している。6月の『子育て相談会』は昨年と同じく参加数は少なめであったが、その分保育士さんに質問しやすい良い機会となった。1月の「節分の集い」も人気なので今後も継続していきたい。		
子育て講座	月2～3回	78					6	124		9	217	リトミック、ヨガ、オルゴール、保健師さんのお話など様々なものに触れる機会とした。	実地曜日によって参加者の数が増減があったので、次年度は、曜日をできるだけ参加者が来やすい日に設定し、行っていきたい。様々な企画を実施できたことは、参加者からは好評だったので、次年度もバラエティに富んだ内容を企画していきたい。	
わくわくフェスタ	7月20日	19						17		4	40	乳幼児全親子対象のおまつり。	夏休み前のお楽しみとして、乳幼児親子対象に行った。対象を乳幼児としたことで、コーナー展開もしやすく、また、普段関わって頂いている民生児童委員さんにも協力いただくなど、地域の関係機関とも連携して行うことができた。次年度に向けての同じような形でやっていきたい。	
乳幼児合同クリスマス会	12月19日	19						16			35	乳幼児全親子対象のクリスマス会。	児童館にいられているすべての乳幼児親子を対象に、クリスマス会を実施。昨年同様申し込みをとりず自由参加型にし、気軽に来れるひだまりひろばの形態をとった。合計26組の親子が参加し、部屋に入るのがやっとの状況になるほど、大盛況の会になった。	
合 計		923	0	5	0	0	6	920	0	0	44	1898		
③子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路		件数	相談内容		件数	つないだ機関等		件数			
	乳児 幼児 小1～3年(自由参加) 小1～4年(学童) 小4～6年(自由参加) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他			健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他					
	件数 計	0	-		0	-		0	-					
④子育てグループを育成	グループ名	構成人数	活動内容		育成・支援内容		成果と課題							
⑤子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容		成果と課題									

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
地域	基	七輪体験	1	修学院第二児童館	2	6	9	1	1		14	33	地域との交流ができた 地域の方にたくさん来ていただいた 季節の行事に親しむことができた 児童館を知ってもらう良い機会になった	
		みんなの音楽会	1	小学校PTA		4	14		2			20		
		にじいろコンサート	1	修学院第二児童館	37	13	12	3	1	57	135	258		
		ひなまつりの集い	1	修学院第二児童館		6	8				11	25		
		あんどん作り	1	一乗寺ドットネット商店会		15	16	4	2			37		
		合計	5		39	44	59	8	6	57	160	373		
福祉	本	活動内容				活動人数				成果と課題				
		(2) ボランティア活動の推進				中学生	大学生	大人	合計	毎週土曜日佛教大学に午後から1人程度サークル活動としてきてくれる。コロナ前までは15人程度きてくれたのだが、今年度はとても少なかった。子ども達は毎週とても楽しみにしている。毎年の課題だが、大人と子どもの関係が対等になり「子どもに遊ばれる」場面があったので、来年度は子どもとの関わり方について、定期的にどろんこと話し合いの場を設けていきたい。				
							48		48					
合計					48		48							
機能	動	連携団体等		連携内容							成果と課題			
		社会福祉協議会		会長との話し合い・各地域の行事の連帯など。毎月第1・3木曜に修二寺子屋を実施。							協議会の会長さんとの連携で、地域とのつながりが密になっている。「修二寺子屋」も定着し、たくさんの協議会の方が毎回参加して下さっている。			
		民生児童委員		毎月1回民生児童委員の方々による子育て支援のサロン。							実際に近所に住んでいる地域の方々によるものなので、参加者側も顔見知りの方がおり、身近な催しになってきている。今年度も児童館まつりでイベントも企画して下さり、好評であった。			
		修学院第二小学校		たよりの交換							たよりの交換は継続していく。外遊び(毎週(月))の運動場の使用。			
		修学院保育園		たよりの交換							民間移管のため、おたより交換が主となった。			
		一乗寺保育園		たよりの交換・合同事業							たよりの交換は継続していく。また合同事業を2回実施し、広く子育て支援の輪を広げている。			
		左京保健センター		たよりの送付							子どもの情報交換をする関係作りができた。			
保健福祉センター子どもはぐみ室		たよりの送付・支援センターの案内物の配架							子育て支援のアピールのきっかけ作りができた。					

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本活動	(4)児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
			修学院第二民生児童委員協議会		会長、主任児童委員ほか		毎月2回と年間不定期で約5回	子育てサロン「そらいろ」や左京の地域の会議に共に参加。 月1回広報を 「修二寺子屋」の実施。ひなまつりのつどいの開催。昔の生活に触れる事業の実施。	協議会の方々の力をお借りして、「修二寺子屋」を実施。囲碁の取組で、子ども達の成長につながっている。
	保健福祉センター子どもはぐくみ室との連帯		保健福祉センター						
		(5)地域への 施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題	
			遊戯室		修学院第二子育てサロン		民生児童委員・乳幼児親子	たくさんの乳幼児親子の遊びの場が提供できた。 地域の方と親子の交流にもなった。	
		(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館のしおり	1回	児童館来館者	児童館来館者に配布	当児童館の利用案内、避難経路の周知	当館独自の利用方法、避難経路について記載。
	児童館だより	毎月	児童館来館者と小学校全生徒および地域の役員の方々に配布 さらに子ども支援センター、近隣保育園・保育所にも配架	児童館来館時に配布と、小学校より全家庭に配布	毎月の活動内容の案内	イベント等を知っていただく機会であり、今後も配布は継続。他の施設のおたよりと差別化するために、フルカラープリントをしたり、各職員でデザインを考え、季節に合ったイラストを載せたりした。
	各登録制ひろばの案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者および各ひろば登録の乳幼児親子	外掲示板・遊戯室・玄関に設置	毎月の活動内容の案内	乳幼児親子の目に留まる場所に掲載していた事で多くの参加者が集まった。また、児童館だよりなどにも掲載しているため新規の方も多かった。次年度も引き続き継続していく。
	子育てサロン「そらいろ」の案内	毎月	児童館来館の乳幼児とその保護者	児童館玄関・遊戯室に設置	毎月、開催日と活動内容を掲示	児童館にチラシを置いているがそれだけではなく児童館だよりにも掲載していたので多くの乳幼児親子が参加して下さった。今後は、児童館のホームページにも開催日や内容等を載せていきたい。
	各イベントのポスター	適宜	児童および地域住民	掲示板、遊戯室、図書室等に掲示	開催日、活動内容等のお知らせ	子ども達は、掲示板を見たりしてイベントに参加していた。
関係機関・保育所等からのチラシとポスター	随時	児童館利用者	玄関、館内掲示板に設置	各機関からの案内	ポスターは見やすく貼り、期間が終われば、忘れずにはずすようにした。チラシはカウンター、ラックに設置した。	